

平成15年度
市民意識調査
報告書

平成15年10月
三島市

目次

調査概要

1

1 調査目的	1
2 調査の設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	1

回答者の属性

3

1 性別	3
2 年齢	3
3 職業	4
4 通勤地（通学地）	4
5 家族構成	5
6 住居の種類	5
7 居住地区	6
8 居住期間	6

調査結果

7

1 居住環境について	7
(1) 三島市に対する愛着	7
(2) 三島市の住みやすさ	8
(3) 三島市の将来像	9
(4) 市の施策に対する満足度	11
(5) 力を入れるべきこと	19
2 広報事業について	21
(1) 市政の動きや行事・イベントなどを知る手段	21
(2) 広報媒体の利用状況	23
(3) 広報みしまの閲読状況	27
(4) 関心を持って読むコーナー	28
(5) 広報みしまを読んでいない理由	30
(6) 広報みしまで知りたいと思うこと等	31
(7) 広報みしまの紙面の大きさについて	33
(8) 広報みしまをさらに読みやすくする方法	34
(9) ケーブルテレビ35チャンネルに期待する番組	36

3 男女共同参画について	38
(1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	38
(2) 社会の中での男女平等意識について	40
(3) 男女平等実現のために重要なこと	44
(4) 子供の育て方	46
(5) 子供に受けさせたい教育	48
(6) 子供の教育への関わり方	50
(7) 男女の望ましい協力関係を作っていくために必要な教育	52
(8) 男女間の暴力について	54
(9) 見たり聞いたりしたことがある言葉	56
(10) 少子化の進行について	58

クロス集計表

59

付 調査票

139

調查概要

調査概要

1 調査目的

本調査は、三島市在住の満20歳以上の男女個人を対象に、居住環境に対する意識や市政に対する要望などの意見を聴取することにより、今後の行政施策の基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 三島市全域
- (2) 調査対象 三島市在住の満20歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成15年7月15日～7月31日

3 調査内容

調査内容は、本人の属性ほか、以下の3項目である。

- (1) 居住環境について
- (2) 広報事業について
- (3) 男女共同参画について

4 回収結果

回収結果は、以下の通りである。

- (1) 回収数 1,220人(回収率: 61.0%)
- (2) 有効回収数 1,219人(有効回収率: 61.0%)

有効回収数は、回収はされたが、記入のない(または少ない)調査票を除いて集計した数。

本報告をみる際の注意事項

- (1) 比率は全て百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数は、調査数(または件数)と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- (3) 質問の終わりに(M.A.)とあるのは、一人の対象者が2つ以上の回答をしてもよい設問であり、その百分比の合計は100%を超えることがある(M.A.=Multiple Answersの略)。
- (4) 本調査は、単純無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$= \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

: 標本誤差
n : 標本の大きさ
P : 回答比率

回答者総数（1,219人）を100%とする場合の質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとすると、母集団（20歳以上の三島市民全体）の回答比率は、47.1%～52.9%の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50%	±2.9%
60%または40%	±2.8%
70%または30%	±2.6%
80%または20%	±2.3%
90%または10%	±1.7%